

就職活動日誌

<内定先>

業種：人材広告業

選考方法：会社説明会兼グループディスカッション、履歴書、グループディスカッション、個人面接×2

<就職活動の流れ>

2013年2月

- ・秘書検定2級受験→合格

2013年8月

- ・人材広告業1社の1dayインターンに参加

2013年9月

- ・栃木県の認定NPO法人の2weeksインターンに参加

2013年10月・11月

- ・ビジネス書を何冊か読む
- ・合宿型のイベント等を企画・運営

2013年12月

- ・就活サイトに登録→毎日チェック
- …少しでも興味を持ったらとりあえずエントリー(エントリーはクリックと同義)
- …業界は広告、コンサル、ブライダル等幅広く
- ・学内・学外の合同企業説明会に参加
- ・企業の個別説明会に積極的に参加
- ・就活本チェック
- ・証明写真撮影(個人の写真屋さんにて(15,000円くらい))

2014年1月

- ・企業の個別説明会に参加(週3程度)
- ・Twitter・Facebook その他メイン情報サイト以外を駆使して気になる業界の業界セミナーに参加
- …食事会等で業界・仕事の具体的な内容を聞き出す
- …OB・OG訪問の機会創出
- ・一次選考スタート

- ・テストセンター(SPI3)対策
- ・エントリーシート記入(OpenES 含む)

2014年2月

- ・テストセンター受験
- ・企業の個別説明会に参加(週2程度)
- ・面接、グループディスカッション本格化
- ・(中旬)初めての最終面接→合格

2014年3月

・2月で志望度の高い企業から内々定をもらったため、第一希望の企業のみ選考を継続→不合格

→先にもらっていた企業に内々定承諾書提出

<就活を振り返って>

- ・出費について

スーツ・コート購入代、東京までの往復交通費、宿泊費等をすべて含めると、10万円は下らなかったの、ある程度就活本番までに貯めておく必要があるということは痛感しました。

- ・アルバイトについて

アルバイトは週3程度でやっていました。説明会など急に入ることもあるので、そのことをアルバイト先に伝え、考慮してもらいながらやっていました。アルバイトで体を動かすのは、就活中ととてもいい気分転換になりました。ただ、説明会やエントリーシート提出時期にアルバイトを入れてしまうと大打撃を受けるので、そのあたりは週1、2程度に減らすなど工夫していました。

- ・業界選択について

私はもともと漠然とした業界選択しかしていませんでした。どちらかというと、説明会に参加して、そこで働く人とフィーリングが合うか否かに重点を置いていました。数を重ねるうちに広告業界に強い関心を持つようになり、その業界に特化した就活サイトや業界セミナーに足を運ぶようになりました。

- ・就活全体を通して

私は完全に短期決戦型の就活を行いました。今となってはもう少し長期的な就活をしてもよかったかなと思いますが、結果的に希望の会社に決まったのでよかったと思います。

私が就活をする上で意識していたのは、“筋の通った言葉を使う”ということと、限られた時間の中でも少しでも多くの本を読む、ということです。

就活では必ずと言っていいほど聞かれることがいくつもあります。それは挫折経験であったり、長所や短所などです。私は自分の言葉に一貫性を持たせるために長所の裏返しを短所として挙げていました。たとえば、長所が“粘り強い”であれば、短所は“頑固”といったようなことです。こういった関連性を持たせることによって、人間性がぶれず、相手に印象を与えることが出来ると思います。

次に、少しでも多くの本を読むということに関してですが、就活本だけに限らず、ビジネス書や小説など、気になった本は進んで購入して読んでいました。そうすることで確実に自分の知識量は増えますし、自信にもなります。

また最後に、多くの社会人に会う機会を作ることとても重要であると感じました。私はもともと多くの社会人と会う機会を持っていましたが、相談できる大人がいることは就活する上で非常に役に立ちます。彼らは就活生の味方です。相談できる大人を近くにつくることで、就活をより一層楽しむことができると思います。

<私が当時読んでいた書籍>

- ・ブレイクスルーひらめきはロジックから生まれる(木村健太郎・磯部光毅)
- ・ファシリテーション・グラフィック―議論を「見える化」する技法(堀公俊・加藤彰)
- ・嫌われる勇氣―自己啓発の源流「アドラー」の教え(岸見一郎・古賀史健)
- ・図解ロジカル・トレーニング「考える力」「ひらめく力」を強化する！(安田正)
- ・伝え方が9割(佐々木圭一)
- ・世界一わかりやすい「ゲーム理論」の教科書(小関尚紀)
- ・マスコミ就職読本
- ・一般教養の天才(小松公夫)
- ・広告業界就職ノススメ。(吉開章)

等々